

実際にインスタグラムを使用して説明を行った



インスタグラムで情報発信

農業関係者向けSNS研修会

大阪府北部農と緑の総合事務所は7月16日、茨木市・茨木市市民総合センターで北摂地域の農業者及び関係者などを対象にSNS研修会を開催した。

研修会では、ホームページ制作などの広告支援を手掛ける「モバイルエール」の橘明日香代表がSNSの中でも写真や動画の投稿に特化した「インスタグラム」を取り上げ、農産物や直売所などの効果的なPR手法について講演を行った。

橘代表は、初めに投稿を行う際の基本的なポイントを解説。投稿文は話し言葉を基本とし、漢字は文章全体の内3割程度に

抑えることが望ましいと指摘。また冒頭の20文字で読者の関心を引く意識が重要と説明した。そのほか、ターゲットとなる消費者がSNSをよく利用する時間帯に投稿することで、より広告効果が期待できると述べた。

最後に「SNSは単なる広告ツールではなく、人とつながるための場でもある。閲覧者が幸せになる発信を心がけてほしい」と呼び掛け、また「独りよがりな情報発信は炎上の原因になる」と注意を促した。(林佑)

大阪農大、総合課程・短期実践課程とも11月から願書受付

100年以上の歴史を有する大阪農大は、「就農したい!」「農業関係の技術者になりたい!」「大阪の農家で働きたい!」を実現するための実践重

視の学校です。令和7年度からは、Web授業を順次導入し、講義をいつでもどこでも何度でも学べる体制を整備しました。週5日通学の2年制総合課程に加え、令和7年度から社会人向けに週1日の通学で就農に求められる知識と技術を習得する

1年制の「短期実践課程」も新設しています。総合課程一般入学試験及び短期実践課程選考試験の願書受付期間は11月7日(28日)。

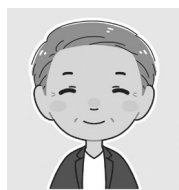


農業大学校HP

天気のおっちゃんのコラム

気象予報士、元普及指導員

森田 彰朗



第十八回

「史上1位の高温」

各地で新記録

今年の夏は気温の新記録が続出しました。7月30日に兵庫県丹波市で41.2℃の日本最高が出たあと、8月5日には群馬県伊勢崎市の41.8℃が記録を塗り替えました。この日は関東の

今年大阪では過去3位の高温

14地点で40℃超えとなり、一日の40℃超えの地点数も過去最高となりました。

大阪はどうでしょう。日最高気温では、7月29日に38.7℃の史上3位を観測しています。しかし、農業の関係でいえば、ここ数年の夏が、今までよ

り、どんどん暑くなっているという状況のほうの問題です。

月単位では過去最高気温が続出

グラフをご覧ください。このグラフは、月平均気温が平年値を何℃上回ったかを表したものです。グラフの折れ線が、各年の気温上昇を示しています。

9月までのデータのある、22年から24年は、いずれも平年値を上回る高温ですが、毎年、平年値との差が徐々に大きくなっているのがわかります。

また、7月までしか確定値のない今年は、直近3年をさらに大きく上回り、6月、7月は各

抜本的な高温対策を!

予報では9月までは高温が続く見込みですが、近年の傾向から、来年以降も記録的な高温が続くと見込まれます。来年に向けて、品種や作型の見直しなど、抜本的な高温対策に真剣に取り組む必要があります。

ワンプoint農業気象(9月)

台風が発生したら進路に注意、ハウス等では事前の対策を。

